

2017年度～2023年度 社会福祉法人ころみる会 社会福祉充実計画

1. 基本事項

法人名	社会福祉法人ころみる会		法人番号	2060005006258				
法人代表者氏名	理事長 池上知恵子							
法人の主たる所在地	栃木県足利市田島町616							
連絡先	tel : 0284-41-5039 fax : 0284-43-2665							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	-							
公認会計士、税理士等の意見徴収年月日								
評議員会の承認年月日	2018年6月23日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (2016年度末現在)	1年目 (2017年度末現在)	2年目 (2018年度末現在)	3年目 (2019年度末現在)	4年目 (2020年度末現在)	5年目 (2021年度末現在)	6年目 (2022年度末現在)	社会福祉充実事業未充当額
	1,049,600 (H28年度)	1,213,270	712,270	169,270	33,000	0	0	0
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)		6,000	501,000	543,000	136,270	33,000	0	0
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	7年目 (2023年度末現在)						合計	社会福祉充実事業未充当額
	0							0
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)	0						1,219,270	0
本計画の対象期間	2017年8月1日～2024年3月31日							

2. 事業計画

(単位：千円)

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1年目	①職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質の向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助。さらに職員間のコミュニケーションを図るための企画を練り、その実行にかかる費用を補助。  (7年計画の1年目)	無	1,660
	②社会福祉充実計画の具体案作り	社会福祉事業	既存	通所施設の改築及び強度行動障害をもつ人たちのためのグループホームの立ち上げ、耐震設備やスプリンクラー設備のない宿舍の建直し、日中活動の室内作業場の建直し、事務所や応接室、職員室といった管理棟部分の建直し、職員宿舍等職員の福利厚生のための設備整備等、様々な形での建物関係の整備を計画しており、それに伴う行政機関への相談や許可申請のための手続き期間。  (5年計画の1年目)	無	5,520
	③職員への福利厚生事業	社会福祉事業	既存	現在の職員宿舍は老朽化が進み、雨漏りしたり、シャワー設備が無かったりするために、職員が長く暮らしたがる構造になってしまっている。そこで、現在使用している建物を取壊し新たに建て直すことで、職員が住みやすい住環境を整え職員の定着を図るもの。  (2年計画の1年目)	有	0
	④職場環境および事務機能アップのための環境整備事業	社会福祉事業	既存	現在の管理棟は開設当初のものを未だに利用しており、現在展開している事業種も増え、事務処理自体が煩雑になっていることを踏まえて、事務職の増員は緊急の課題であり、それに伴う事務所空間の拡張は避けては通れない課題。そこで管理棟の全面的な建替えを計画し、これまできちんとしたものがなかった職員のための会議室や休憩室、資料室、相談室、応接室などを整え、職場環境の充実を図るもの。  (3年計画の1年目)	有	0

⑤通所事業部の充実	社会福祉事業	新規	<p>これまでこころみ学園の生活介護事業のメインとして行ってきた椎茸栽培や、東日本の震災以降原木椎茸の栽培に替わる作業として始めた薪作り等の作業を、より本格的に行うための設備を備えた建物として、新たに日中活動棟を建設することにしたもの。なおこの建物は、これまでGHや自宅から通ってきていた利用者さんや、無断外出や粗暴行為などのために常時職員の見守りが必要な利用者さんとともに職員も休憩ができる場所として、より快適な環境を提供し、快適な環境を整えることで作業効率を上げ、工賃アップを図るもの。</p> <p>(3年計画の1年目)</p>	有	0
⑨高齢化に対応した居住空間の整備	社会福祉事業	既存	<p>築45年の宿舍たんぼぼ棟は、耐震設計やスプリンクラー設備の面から改善対象となっている建物。これまで何度か建替えを計画したが、東日本の大震災や東京オリンピックの開催など、建築業界にとって人手や資材が十分に供給できない事態が続き、頓挫していたもの。そうした事態が安定期に入るだろうと見られるこの時期に、全室を個室化し、そこへ雨天時にも洗濯物が干せるようなスペースや、リハビリ室や談話室などを備えた全面的な取壊しと再建を予定しているもの。</p> <p>(4年計画の1年目)</p>	有	0
小計					7,180

2年目	①職員育成事業	社会福祉事業	既存	(7年のうち2年目)	無	1,660
	②社会福祉充実計画の具体案作り	社会福祉事業	既存	耐震設備やスプリンクラー設備のない宿舍の建直し、日中活動の室内作業場の新設、事務所や応接室、職員室といった管理棟部分の建直し、職員宿舍等職員の福利厚生のための設備整備、こうした工事に伴い発生したグループホームの取り壊しや老朽化したグループホームなどに替わるグループホームの新築等、大幅な改築や新築工事の具体案作りや関係行政機関への相談や許可申請のための手続きを実施。 (5年のうち2年目)	無	38,122
	③職員への福利厚生事業	社会福祉事業	既存	(2年計画の2年目)	有	92,375
	④職場環境および事務機能アップのための環境整備事業	社会福祉事業	既存	(3年計画の2年目)	有	96,700
	⑤通所事業部の充実	社会福祉事業	新規	(3年計画の2年目)	有	22,000
	⑥居住棟の個室化	社会福祉事業	新規	新管理棟建設に伴い、消防法のみから隣接する居住棟の窓は耐火構造でなければならないことが判明した。その費用を見積もったところ、窓枠を換えるだけの概算で350万円以上かかることが分かり、この際充実計画7年目に予定している「居住棟の個室化」を一部実施してしまうことにした。具体的には、今回はぶどう学舎北側の居室のみ個室化するもの。 (2年計画の1年目)	有	9,000
	⑦地域移行事業	社会福祉事業	新規	充実計画4年目に予定している「高齢化に伴う居住空間の整備」により、取り壊されることになっていたグループホームの移転先として、築19年の既存建物を利用する予定であったが、そこに新たにスプリンクラーをつけなければならないことや、基準に沿った居室の広さを確保するためには改築が必要で、そのための費用としては約500万円ほどかかることが判明した。さらに、賃貸物件を利用して運営していたグループホームの老朽化が急に進み、そこを使い続けるには修繕費が1千万円ほどかかってしまうことも判った。こうした現状を鑑みると、新たにグループホームを新築し、より高齢化していく利用者のニーズに合わせた建物を建てていくことが賢明であると判断したもの。 (2年計画の1年目)	有	25,000
	⑨高齢化に対応した居住空間の整備	社会福祉事業	既存	(4年計画の2年目)	有	220,000
	小計					

3年目	①職員育成事業	社会福祉事業	既存	(7年計画の3年目)	無	1,660
	②社会福祉充実計画の具体案作り	社会福祉事業	既存	耐震設備やスプリンクラー設備のない宿舍の建直し、老朽化した日中活動棟の新設等、新たな新築工事の具体案作りや関係行政機関への相談や許可申請のための手続きを実施。 (5年計画の3年目)	無	7,120
	④職場環境および事務機能アップのための環境整備事業	社会福祉事業	既存	(3年計画の3年目)	有	203,300
	⑤通所事業部の充実	社会福祉事業	新規	(3年計画の3年目)	有	50,000
	⑥居住棟の個室化	社会福祉事業	新規	新管理棟建設に伴い、消防法のからみで隣接する居住棟の窓は耐火構造でなければならないことが判明した。その費用を見積もったところ、窓枠を換えるだけの概算で350万円以上かかることが分かり、この際充実計画7年目に予定している「居住棟の個室化」を一部実施してしまうことにした。具体的には、今回はぶどう学舎北側の居室のみ個室化するもの。 (2年計画の2年目)	有	18,000
	⑦地域移行事業	社会福祉事業	新規	充実計画4年目に予定している「高齢化に伴う居住空間の整備」により、取り壊されることになっていたグループホームの移転先として、築19年の既存建物を利用する予定であったが、そこに新たにスプリンクラーをつけなければならないことや、基準に沿った居室の広さを確保するためには改築が必要で、そのための費用としては約500万円ほどかかることが判明した。さらに、賃貸物件を利用して運営していたグループホームの老朽化が急に進み、そこを使い続けるには修繕費が1千万円ほどかかってしまうことも判った。こうした現状を鑑みると、新たにグループホームを新築し、より高齢化していく利用者のニーズに合わせた建物を建てていくことが賢明であると判断したもの。 (2年計画の2年目)	有	55,000
	⑧社会福祉充実計画に基づく第2期工事のための土地準備	社会福祉事業	新規	今回の計画の中には、あかまつ作業所の老朽化対策や工賃向上を目指して現在の建物を取壊し、新たにより広い作業スペースを備えた建物を再建する計画をしているが、そのためには新たに土地を確保する必要があり、まずは土地探しと購入のための手続き及び更地にするための費用が必要となってくる。	無	22,000
	⑨高齢化に対応した居住空間の整備	社会福祉事業	既存	(4年計画の3年目)	有	215,000
	小計					

4年目	①職員育成事業	社会福祉事業	既存	(7年計画の4年目)	無	1,660
	②社会福祉充実計画の具体案作り	社会福祉事業	既存	通所施設(あかまつ作業所)の老朽化対策や工賃向上を目指した新築に伴う具体案作りや建物関係の行政機関への相談や許可申請のための手続きを行う。 (5年計画の4年目)	無	8,320
	⑨高齢化に対応した居住空間の整備	社会福祉事業	既存	(4年計画の4年目)	有	245,000
	⑩通所事業部の充実及び作業場の増設	社会福祉事業	既存	あかまつ作業所の建物の一部が老朽化し、雨漏りや隙間風がひどいため全面的な建替えを行い、より快適な環境で作業効率を上げ、工賃アップを図るもの。さらに、(有)ココ・ファーム・ワイナリーの作業をよりたくさん請け負うことができるよう、これまで拡散していた作業場を一つにまとめ、移動に係る時間を短縮してより作業効率を上げ、作業工賃アップを達成していくことも目的としている。 (2年計画の1年目)	有	0
	⑪地域移行事業	社会福祉事業	新規	現状では、強度行動障害をもつ人たちと高齢になり歩行が不安定になった人たちが、同じ空間にいる危険な状況にあり、それを回避すること。さらに、強度行動障害を持つ人たちにとって安定した状態でいられるよう小さな集団を作ることを目的としたグループホームを作り、地域生活への第一歩を試みるもの。 (3年計画の1年目)	有	0
小計						254,980

5年目	①職員育成事業	社会福祉事業	既存	(7年計画の5年目)	無	1,660
	②社会福祉充実計画の具体案作り	社会福祉事業	既存	通所施設の <b>新築</b> 及び強度行動障害をもつ人たちのためのグループホームの立ち上げに伴う具体案作りや、建物関係の行政機関への相談や許可申請のための手続きを行う。 (5年計画の5年目)	無	32,000
	⑩通所事業部の充実及び作業場の増設	社会福祉事業	既存	(2年計画の2年目)	有	376,320
	⑪地域移行事業	社会福祉事業	新規	(3年計画の2年目)	有	135,000
	⑫居住棟の個室化	社会福祉事業	既存	強度行動障害の人たちのためのグループホームを造ることで、現在使用している居住棟に余裕が出てくることが予想される。そこで個室化へと改造していくことを計画したもの。 (3年計画の1年目)	有	0
小計						544,980
6年目	①職員育成事業	社会福祉事業	既存	(7年計画の6年目)	無	1,660
	⑪地域移行事業	社会福祉事業	新規	(3年計画の3年目)	有	265,950
	⑫居住棟の個室化	社会福祉事業	既存	(3年計画の2年目)	有	0
小計						267,610
7年目	①職員育成事業	社会福祉事業	既存	(7年計画の7年目)	無	1,660
	⑫居住棟の個室化	社会福祉事業	既存	(3年計画の3年目)	有	10,000
小計						11,660
合計						2,163,347

### 3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業(小規模事業)	利用者の高齢化に対応し、同時に強度行動障害を持つ人たちへのより快適な居住空間を提供するために、数年間かけて費用を貯めてきていた。しかしそんな矢先に東日本の大震災が起き、さらに東京オリンピックの誘致が決まり、それによって建築業界の資材の高騰や人手不足などが懸念され、いくつかの建替え計画が頓挫されてしまっていた。しかしここへ来て、建築業界の資材高騰も頭打ちになったようで、まずはこれまで出来なかった社会福祉事業の充実にこうした資金を活用することにした。
② 地域公益事業	地域公益事業に関しては、栃木県障害施設・事業協会が実施するセイフティーネットに登録することを手始めに、すでに公益事業に取り組み結果を出しており、今後もそれを続けていくつもりである。その他にも公の形ではないが、個人的な相談として引きこもりの青年をボランティアとして受け入れることなどを通して、これからも地域公益事業に取り組んでいくことになっている。なお、今のところこうした活動はボランティアの範囲でとどまっており、大きな費用は発生していないため予算化していない。
③ ①及び②以外の公益事業	

### 4. 資金計画

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1年目	2年目	3年目	4～5年目	6～7年目	合計	
①職員育成事業	計画の実施時期における事業費合計	1,660	1,660	1,660	3,320	3,320	11,620	
	財源構成	社会福祉充実残額	1,000	1,000	1,000	2,000	0	5,000
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益	660	660	660	1,320	1,320	4,620
その他					2,000	2,000		

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	
②社会福祉充実計画の具体案作り	計画の実施時期における事業費合計	5,520	38,122	7,120	8,320	32,000	91,082	
	財源構成	社会福祉充実残額	5,000	38,000	7,000	8,000	32,000	90,000
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益	520	122	120	320	0	1,082
その他						0		



(単位：千円)

事業名	事業内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	
③職員への福利厚生事業	計画の実施時期における事業費合計	0	92,375	—	—	—	92,375	
	財源構成	社会福祉充実残額	0	90,000				90,000
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益		375				375
		その他		2,000				2,000

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	
④職場環境および事務機能アップのための環境整備事業	計画の実施時期における事業費合計	0	96,700	203,300	—	—	300,000	
	財源構成	社会福祉充実残額	0	96,000	190,000			286,000
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益		700	3,300			4,000
		その他			10,000			10,000

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	
⑤通所事業部の充実	計画の実施時期における事業費合計	0	22,000	50,000		—	72,000	
	財源構成	社会福祉充実残額	0	22,000	40,000			62,000
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益		0	5,000			5,000
		その他			5,000			5,000

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	
⑥居住棟の個室化	計画の実施時期における事業費合計	—	9,000	18,000		—	27,000	
	財源構成	社会福祉充実残額		9,000	18,000			27,000
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益						0
		その他						0

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	
⑦地域移行事業	計画の実施時期における事業費合計	—	25,000	55,000		—	80,000	
	財源構成	社会福祉充実残額		25,000	52,000			77,000
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益						0
		その他			3,000			3,000

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	
⑧社会福祉充実計画に基づく第2期工事のための土地準備	計画の実施時期における事業費合計	—	—	22,000		—	22,000	
	財源構成	社会福祉充実残額			20,000			20,000
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益			0			0
		その他			2,000			2,000

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	
⑨高齢化に対応した居住空間の整備	計画の実施時期における事業費合計	0	220,000	215,000	245,000		680,000	
	財源構成	社会福祉充実残額	0	220,000	215,000	127,270		562,270
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益				87,730		87,730
		その他				30,000		30,000

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1~2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	合計	
⑩通所事業部の充実及び作業場の増設	計画の実施時期における事業費合計	—	—	0	376,320	—	376,320	
	財源構成	社会福祉充実残額			0	0		0
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益				371,320		371,320
		その他				5,000		5,000

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1~2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	合計	
⑪地域移行事業	計画の実施時期における事業費合計	—	—	0	135,000	265,950	400,950	
	財源構成	社会福祉充実残額			0	0	0	0
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益				135,000	265,950	400,950
		その他						0

(単位：千円)

事業名	事業内訳	1~3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	合計	
⑫居住棟の個室化	計画の実施時期における事業費合計	—	—	0	0	10,000	10,000	
	財源構成	社会福祉充実残額			0	0	0	0
		補助金						0
		借入金						0
		事業収益			0	0	10,000	10,000
		その他						0

## 5. 事業の詳細

事業名	①職員育成事業	
主な対象者	当法人に在籍の職員全員	
想定される対象者数	110人	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2017年4月1日～2023年3月31日	
事業内容	当法人の職員の資質向上を図るため、全国もしくは地方自治体が発行する研修の受講費用を補助する。また職員間の連携を図るための親睦会の費用を補助する。	
事業の実施スケジュール	1年目	親睦に関しては全員。研修に関して25人を対象に費用助成を実施。
	2年目	親睦に関しては全員。研修に関して25人を対象に費用助成を実施。
	3年目	親睦に関しては全員。研修に関して25人を対象に費用助成を実施。
	4年目	親睦に関しては全員。研修に関して25人を対象に費用助成を実施。
	5年目	親睦に関しては全員。研修に関して25人を対象に費用助成を実施。
	6年目	親睦に関しては全員。研修に関して25人を対象に費用助成を実施。
	7年目	親睦に関しては全員。研修に関して25人を対象に費用助成を実施。
事業費概算 (概要)	《¥3,000/1人×2回×110人=¥660,000 ¥40,000/1人×25人=¥1,000,000》×7年	
	合計	11,620千円（うち社会福祉充実残額充当額5,000千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

事業名	②社会福祉充実計画の具体案作り	
主な対象者	こころみる会で行なう事業の利用者全員	
想定される対象者数	150名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2017年4月1日～2023年3月31日	
事業内容	事務所や応接室、職員室といった管理棟部分の建直し、職員宿舎等職員の福利厚生のための設備整備、耐震設備やスプリンクラー設備のない宿舎の建直し、作業場所の増改築、通所施設の改築及び強度行動障害をもつ人たちのためのグループホームの立ち上げ等、建築関係の整備に伴う、行政機関への相談や許可申請のための手続きを行う。	
事業の実施スケジュール	1～5年目	マスタープラン作成。行政ヒヤリング。開発協議または許可申請。
	7年目	平成35年度末で完成予定。
事業費概算 (概要)	打ち合わせ1回3万円+その他費用	
	合計	91,082千円（うち社会福祉充実残額充当額90,000千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

事業名	③職員への福利厚生事業	
主な対象者	新規採用の職員や独身職員。	
想定される対象者数	30名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2017年4月1日～2019年1月31日	
事業内容	現在の職員宿舎は老朽化が進み、雨漏りしたり、シャワー設備も無かったりするため、長く暮らしてくれる職員がほとんどいなくなってしまっている。そこで現在の建物を取壊して、新たにユニットバスやキッチンを備えたワンルーム形式の職員寮を立てることを計画している。	
事業の実施スケジュール	1年目	基本計画
	2年目	基本計画。実施設計。確認申請。見積・入札。既存建物解体・建設工事。引越し・使用開始。
事業費概算 (概要)	合計	92,375千円 (うち社会福祉充実残額充当額90,000千円)
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

事業名	④職場環境および事務機能アップのための環境整備事業	
主な対象者	職員全員	
想定される対象者数	120名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2017年4月1日～2019年10月30日	
事業内容	現在の管理棟は開設当初のものを未だに利用しており、開設当初と比べ展開している事業種も増え、事務処理自体が煩雑になっていることを踏まえて、事務職の増員は緊急の課題であり、それに伴う事務所空間の拡張は避けては通れない課題。そこで管理棟の全面的な建替えを計画し、これまできちんとしたものがなかった職員のための休憩室や会議室、資料室、相談室、応接室などを整え、職場環境の充実を図っていく。	
事業の実施スケジュール	1年目	基本計画
	2年目	基本計画。実施設計。確認申請。見積・入札。既存建物解体。
	3年目	建設工事。引越し・使用開始。
事業費概算 (概要)	合計	300,000千円 (うち社会福祉充実残額充当額286,000千円)
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

事業名	⑤通所事業部の充実	
主な対象者	強度行動障害を持つ人たちの一部及び通所の利用者の一部	
想定される対象者数	15名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2017年4月1日～2019年10月30日	
事業内容	これまでこころみ学園の生活介護事業のメインとして行ってきた椎茸栽培や、東日本の震災以降原木椎茸の栽培に替わる作業として始めた薪作り等の作業を、より本格的に行うための設備を備えた建物として、新たに日中活動棟を建設することにしたもの。なおこの建物は、これまでGHや自宅から通ってきていた利用者さんや、無断外出や粗暴行為などのために常時職員の見守りが必要な利用者さんとともに職員も休憩ができる場所として、より快適な環境を提供し、快適な環境を整えることで作業効率を上げ、工賃アップを図るもの。	
事業の実施スケジュール	1年目	基本計画
	2年目	基本計画。実施設計。確認申請。見積・入札。既存建物解体。
	3年目	建設工事。引越し・使用開始。
事業費概算 (概要)	合計	72,000千円（うち社会福祉充実残額充当額62,000千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

事業名	⑥居住棟の個室化	
主な対象者	強度行動障害を持つ人たちの一部及び通所の利用者の一部	
想定される対象者数	10名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2018年10月1日～2019年10月31日	
事業内容	新管理棟建設に伴い、消防法のからみで隣接する居住棟の窓は耐火構造にしなければならなくなったが、ゆくゆくは各居室の個室化を予定していたこともあり、窓枠を換える工事と同時に個室もしくは準個室の改装工事を一部実施してしまうことにした。具体的には、まずはぶどう学舎北側の居室を個室化するもの。	
事業の実施スケジュール	1年目	
	2年目	基本計画。実施設計。確認申請。見積・入札。
	3年目	建設工事。引越し・使用開始。
事業費概算 (概要)	合計	27,000千円（うち社会福祉充実残額充当額27,000千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

事業名	⑦地域移行事業	
主な対象者	現在グループホーム（たじま荘、もちぶね荘）を利用している利用者	
想定される対象者数	8名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2018年10月1日～2019年10月31日	
事業内容	<p>充実計画4年目に予定している「高齢化に伴う居住空間の整備」により、取り壊されることになっていたグループホーム『たじま荘』の移転先と、グループホームとして利用していた賃貸物件『もちぶね荘』の老朽化により、今後もかさみ続けるであろう修繕費を抑えるために、より高齢化していく利用者に合わせた構造のグループホームを新たに2棟、新築することにしたもの。</p>	
事業の実施スケジュール	1年目	—
	2年目	基本計画。実施設計。確認申請。見積・入札。
	3年目	建設工事。引越し・使用開始。
事業費概算 (概要)	合計	80,000千円（うち社会福祉充実残額充当額77,000千円）
	—	
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

事業名	⑧社会福祉充実計画に基づく第2期工事のための土地準備	
主な対象者	多機能型あかまつ作業所の利用者	
想定される対象者数	20名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2018年4月1日～2019年12月31日	
事業内容	<p>今回の計画の中には、あかまつ作業所の老朽化対策や工賃向上を目指して現在の建物を取壊し、新たにより広い作業スペースを備えた建物を再建する計画をしているが、そのためには新たに土地を確保する必要があり、まずは土地探しと購入のための手続きが必要となってくる。</p>	
事業の実施スケジュール	1年目	—
	2年目	—
	3年目	土地の購入。土地の更地化。
事業費概算 (概要)	合計	22,000千円（うち社会福祉充実残額充当額20,000千円）
	—	
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

事業名	⑨高齢化に対応した居住空間の整備	
主な対象者	入所や現在グループホームを利用している高齢者	
想定される対象者数	17名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2017年4月1日～2021年1月31日	
事業内容	築45年の宿舎たんぼぼ棟は、耐震設計やスプリンクラー設備の面から改善対象となっている建物。古い建物を取壊し、全室を個室化し、雨天時にも洗濯物が干せるようなスペースや、リハビリ室や談話室なども備えた、高齢になった利用者が安心してゆっくりと過ごすことの出来る居住棟の再建を行う。	
事業の実施スケジュール	1年目	基本計画。
	2年目	基本計画。実施設計。確認申請。見積・入札。
	3年目	既存建物の解体。建設工事
	4年目	建設工事/引越し・使用開始。
	5年目	-
事業費概算 (概要)	合計	680,000円（うち社会福祉充実残額充当額562,270千円）
	地域協議会等の意見とその反映状況	
—		

事業名	⑩通所事業部の充実及び作業場の増設	
主な対象者	多機能型あかまつ作業所の利用者	
想定される対象者数	20名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2020年4月1日～2022年3月31日	
事業内容	あかまつ作業所の建物の一部が老朽化し、雨漏りや隙間風がひどいため全面的な建替えを行い、より快適な環境で作業効率を上げ、工賃アップを図るもの。さらに、（有）ココ・ファーム・ワイナリーの作業をよりたくさん請け負うことができるよう、これまで拡散していた作業場を一つにまとめ、移動に係る時間を短縮してより作業効率を上げ、作業工賃アップを達成していくことも目的としている。	
事業の実施スケジュール	1年目	—
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	基本計画。実施設計。確認申請。
	5年目	見積・入札。土地整備。道路拡幅工事。建設工事。引越し。
	6年目	
	7年目	
事業費概算 (概要)	合計	376,320千円（うち社会福祉充実残額充当額0円）
	地域協議会等の意見とその反映状況	
—		



事業名	⑪地域移行事業	
主な対象者	強度行動障害を持つ人たち	
想定される対象者数	30名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2020年4月1日～2023年3月31日	
事業内容	強度行動障害をもつ人たちと、高齢になり歩行が不安定になった人たちが、常に同じ空間にいる危険な状況を回避すること、さらに、強度行動障害を持つ人たちが社会適応力を体得するために、まずは小さな集団から安定した状態でいられるよう小さな集団生活訓練としてのユニット式のグループホームを建設する。	
事業の実施スケジュール	1～3年目	—
	4～5年目	基本計画。実施設計。確認申請。見積・入札。
	6年目	既存建物の解体。道路拡幅工事。建設工事。引越し。
	7年目	—
事業費概算 (概要)	合計	400,950千円（うち社会福祉充実残額充当額0円）
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

事業名	⑫居住棟の個室化	
主な対象者	やまのこ棟とぶどう学舎の利用者及び短期入所利用者	
想定される対象者数	40名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2020年4月1日～2024年3月31日	
事業内容	利用者さんにとってより快適な居室を提供するために、大部屋を2名もしくは個室に改築する。	
事業の実施スケジュール	1～4年目	—
	5～6年目	基本計画。実施設計。見積・入札。
	7年目	既存建物の解体。改築工事。引越し
事業費概算 (概要)	合計	10,000千円（うち社会福祉充実残額充当額0円）
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

#### 6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画が5か年度を超える理由

利用者の高齢化や重度化に伴い、安心して安全な居室をどのように提供していくかがここ数年の大きな課題だった。その答えを探るべく他の施設を見学したり研修会に参加していく中で、ようやくどのような目的の建物を建てればよいのか、具体的な案がまとまり始めた。それを図面に落とし込んでいくことや、実際に計画した建物を建てる事が出来るのか？異なるいくつかの行政機関との話し合いも必要であり、そのための期間を考えると5年間では全ての計画を終了できないことが判明した。具体的には平成29年から準備をはじめ、実際の工事にこぎつけられるのは早くても平成30年。その後、全ての建築工事が順調にいったとしても最終完成は平成35年度となり、平成29年度から7年間の期間を要すると思われる。